

マスクは場面に応じて適切に着用しましょう

マスク着用は引き続き基本的な感染防止策として重要です。
以下の考え方を基に適切な着脱の判断をお願いします。



：着用を推奨

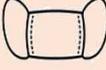
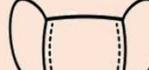


：着用の必要なし

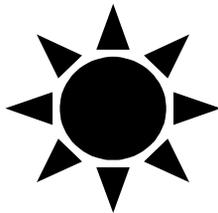
屋内

屋内とは…

外気の流入が妨げられる、建物の中、地下街、公共交通機関の中などを言う

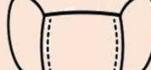
		身体的距離(2mを目安)	
		確保できる	確保できない
会話	あり	  <p>(例)十分換気された 広い部屋での会議</p>	 <p>喫煙室、更衣室</p>
	ほとんどなし	 <p>距離を確保して行う 図書館での読書</p>	 <p>通勤電車(混雑時)</p>

※ 十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可



屋外



		身体的距離(2mを目安)	
		確保できる	確保できない
会話	あり	 <p>(例) キャッチボール、テニス</p>	 <p>距離を確保できない スポーツ観戦</p>
	ほとんどなし	 <p>散歩、サイクリング</p>	 <p>徒歩や自転車ですれ違う場面</p>

気温や湿度が高いときは、熱中症防止の観点から
「着用の必要なし☺」ではなくマスクを「外すことを推奨」

お年寄りと会うときや病院に行くときなど、重症化リスクの高い方と接する場合には「着用の必要なし☺」の場面でもマスクを着用



栃木県新型コロナウイルス生活相談センター

☎ 0570-666-983 (平日9時~17時)